



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 栄二郎

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 国近 文子 (TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	106,989	2.2	12,975	13.4	13,535	14.3	9,153	19.2
2019年3月期第2四半期	104,724	△1.3	11,440	△6.7	11,845	△6.5	7,682	△11.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 10,158百万円(390.5%) 2019年3月期第2四半期 2,070百万円(△77.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	181.98	—
2019年3月期第2四半期	147.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	186,945	103,958	55.2
2019年3月期	175,837	97,193	54.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 103,257百万円 2019年3月期 96,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	66.00	66.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	66.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	207,000	0.8	21,000	3.9	21,400	3.0	14,500	13.1	288.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	54,189,769株	2019年3月期	54,189,769株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,886,850株	2019年3月期	3,888,013株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	50,302,404株	2019年3月期2Q	52,004,428株

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2020年3月期2Q 24,564株、2019年3月期 27,300株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	10

※参考資料 2020年3月期 第2四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、主力の食料品製造事業が好調に推移し、全体では1,069億8千9百万円と前年同期実績に比べ22億6千5百万円(2.2%)の増収となりました。

損益は、売上高の増収に加え、売上原価率の改善等により、営業利益は前年同期実績に比べ15億3千5百万円(13.4%)増益の129億7千5百万円、経常利益も前年同期実績に比べ16億9千万円(14.3%)増益の135億3千5百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ14億7千1百万円(19.2%)増益の91億5千3百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内主力ブランドでは、ハイカカオ等の商品が引き続き好調に推移したことにより「カレ・ド・ショコラ」が前年同期実績を大きく上回りました。「ハイチュウ」は、包装形態の多様化や8月12日の『ハイチュウの日』の訴求により、積極的な売り場展開を進めたことで大きく伸ばしました。「ダース」「森永甘酒」は前年同期実績を下回りましたが、親子3世代消費を喚起した「森永ビスケット」が前年同期実績を上回り、主力ブランド全体では前年同期実績を上回りました。

その他のブランドでは、ブドウ糖を訴求した「森永ラムネ」や、「小麦胚芽のクラッカー」も好調に推移したことで、国内全体では前年同期実績を上回りました。

海外では、米国は好調に推移し大きく伸ばしましたが、インドネシアにおける合弁会社の提携解消にともない、海外全体では前年同期実績を下回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は562億2千5百万円と前年同期実績に比べ3億2千7百万円(0.6%)増となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループは、最盛期の天候不順などもありましたが、積極的なプロモーションを展開した効果に加え、「バニラモナカジャンボ」が引き続き好調に推移し、前年同期実績を上回りました。その他のブランドでは、今年発売30周年を迎えた「アイスボックス」や、「ビスケットサンド」が前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は251億2千7百万円と前年同期実績に比べ16億5千3百万円(7.0%)増となりました。

健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、機能訴求の強化や、積極的なプロモーション展開などを行いました。最盛期の天候不順の影響により前年同期実績を下回りました。一方で手軽にプロテインが摂れる「i nバー」は前年同期実績を大きく上回りました。「天使の健康」シリーズの通販事業は「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績を上回り、通販事業全体としても前年同期実績を上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は216億9千6百万円と前年同期実績に比べ4億7千1百万円(2.2%)増となりました。

[主な商品の前年同期比 (単位：%)]

菓子食品部門		冷蔵部門	
森永ビスケット	104	ジャンボグループ	104
チョコボール	100	健康部門	
ダース	88	i nゼリー	98
ハイチュウ	111		
カレ・ド・ショコラ	111		
森永甘酒	94		
菓子食品主力品計	103		

※表内の数値は国内売上で算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は1,030億4千9百万円と前年同期実績に比べ2.4%増となりました。セグメント利益は129億円と前年同期実績に比べ16億8百万円の増益となりました。

＜食料卸売事業＞

売上高は、26億9千7百万円と前年同期実績に比べ7.7%減となりました。セグメント利益は1億3千万円と前年同期実績に比べ3千2百万円の減益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、9億4千5百万円と前年同期実績に比べ0.9%増となりました。セグメント利益は3億9千9百万円と前年同期実績に比べ1千7百万円の増益となりました。

＜その他＞

売上高2億9千7百万円、セグメント利益5千万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,869億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ111億8百万円増加しております。主な要因は、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定や投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は829億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億4千3百万円増加しております。主な要因は、未払金が減少した一方で、流動負債のその他に含まれる設備関係未払金が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,039億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億6千5百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.4ポイント増加し、55.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,836	42,385
受取手形及び売掛金	24,561	22,423
商品及び製品	10,417	11,689
仕掛品	468	489
原材料及び貯蔵品	6,297	6,841
その他	3,663	4,228
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	85,239	88,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,301	17,172
機械装置及び運搬具（純額）	16,243	15,777
土地	24,191	24,166
その他（純額）	2,248	9,607
有形固定資産合計	59,984	66,724
無形固定資産		
のれん	392	343
その他	228	242
無形固定資産合計	621	586
投資その他の資産		
投資有価証券	24,967	26,725
退職給付に係る資産	3,083	3,067
繰延税金資産	1,028	928
その他	989	936
貸倒引当金	△76	△76
投資その他の資産合計	29,993	31,582
固定資産合計	90,598	98,893
資産合計	175,837	186,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,117	20,165
短期借入金	666	894
未払金	10,714	9,409
未払法人税等	4,001	4,765
賞与引当金	2,539	2,533
その他	12,363	18,026
流動負債合計	51,402	55,794
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	3,911	4,037
役員株式給付引当金	21	21
環境対策引当金	328	306
退職給付に係る負債	8,342	8,197
資産除去債務	117	119
受入敷金保証金	3,733	3,729
その他	786	782
固定負債合計	27,241	27,192
負債合計	78,644	82,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,281	17,281
利益剰余金	57,070	62,902
自己株式	△11,277	△11,272
株主資本合計	81,687	87,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,043	14,154
繰延ヘッジ損益	14	△1
為替換算調整勘定	656	528
退職給付に係る調整累計額	1,037	1,050
その他の包括利益累計額合計	14,751	15,732
非支配株主持分	754	701
純資産合計	97,193	103,958
負債純資産合計	175,837	186,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	104,724	106,989
売上原価	49,483	49,479
売上総利益	55,241	57,509
販売費及び一般管理費	43,801	44,534
営業利益	11,440	12,975
営業外収益		
受取利息	9	3
受取配当金	338	379
持分法による投資利益	—	97
その他	142	190
営業外収益合計	490	671
営業外費用		
支払利息	25	33
持分法による投資損失	11	—
減価償却費	21	32
その他	27	44
営業外費用合計	85	111
経常利益	11,845	13,535
特別利益		
固定資産売却益	470	1
投資有価証券売却益	36	1
特別利益合計	507	3
特別損失		
固定資産除売却損	142	233
減損損失	1,548	—
その他	0	3
特別損失合計	1,691	237
税金等調整前四半期純利益	10,661	13,301
法人税、住民税及び事業税	4,217	4,406
法人税等調整額	△432	△321
法人税等合計	3,785	4,084
四半期純利益	6,875	9,216
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△806	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,682	9,153

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	6,875	9,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,345	1,237
繰延ヘッジ損益	25	△18
為替換算調整勘定	△479	△167
退職給付に係る調整額	△24	13
持分法適用会社に対する持分相当額	18	△123
その他の包括利益合計	△4,804	941
四半期包括利益	2,070	10,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,070	10,134
非支配株主に係る四半期包括利益	△999	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,661	13,301
減価償却費	2,719	2,931
減損損失	1,548	—
のれん償却額	49	49
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△80	—
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	7	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	194	△127
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△29	19
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△0	△22
受取利息及び受取配当金	△348	△383
支払利息	25	33
持分法による投資損益(△は益)	11	△97
固定資産売却損益(△は益)	△441	21
固定資産除却損	112	210
売上債権の増減額(△は増加)	△3,618	2,092
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,695	△1,892
仕入債務の増減額(△は減少)	2,501	△923
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△87	△3
その他	858	△1,278
小計	12,360	13,929
利息及び配当金の受取額	348	383
利息の支払額	△23	△32
法人税等の支払額	△2,252	△3,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,432	10,643
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	—
定期預金の払戻による収入	15,000	30,000
有形固定資産の取得による支出	△2,826	△4,554
有形固定資産の売却による収入	1,201	11
無形固定資産の取得による支出	△1	△30
投資有価証券の取得による支出	△17	△2
投資有価証券の売却による収入	57	5
その他	△101	△165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,687	25,264

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	165	247
長期借入金の返済による支出	△552	—
自己株式の取得による支出	△142	△8
自己株式の売却による収入	129	12
配当金の支払額	△2,600	△3,321
非支配株主への配当金の支払額	△36	△76
その他	△131	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,168	△3,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	△56
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	506	32,549
現金及び現金同等物の期首残高	20,938	9,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,444	42,385

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

場所	用途	種類及び減損損失(百万円)			
		建物及び構築物	機械装置及び運搬具	その他	合計
インドネシア ジャワテンガ州他	製造設備等	761	729	57	1,548

(資産のグルーピングの方法)

当社グループは、事業用資産については、事業の種類別セグメントを基礎に独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位を識別し、資産のグルーピングを行っております。

(減損損失の認識に至った経緯)

投資に見合う回収が不可能と判断されることから、回収可能価額まで帳簿価額を減額しております。

(回収可能価額の算定方法)

正味売却価額により測定しており、市場価格等により合理的に算定しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	100,598	2,923	937	104,459	265	104,724	—	104,724
セグメント間の内部売上高	254	83	0	339	703	1,042	△1,042	—
計	100,853	3,006	937	104,798	968	105,766	△1,042	104,724
セグメント利益	11,292	162	382	11,837	26	11,863	△423	11,440

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△423百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△433百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	103,049	2,697	945	106,692	297	106,989	—	106,989
セグメント間の内部売上高	285	115	1	402	488	890	△890	—
計	103,334	2,813	946	107,094	785	107,879	△890	106,989
セグメント利益	12,900	130	399	13,430	50	13,480	△505	12,975

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△505百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△486百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する収益及び費用の配分方法の見直しを行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

「食料品製造」セグメントにおいて、減損損失1,548百万円を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

該当事項はありません。

2020年3月期 第2四半期決算短信補足資料

[当第2四半期連結累計期間]

業績

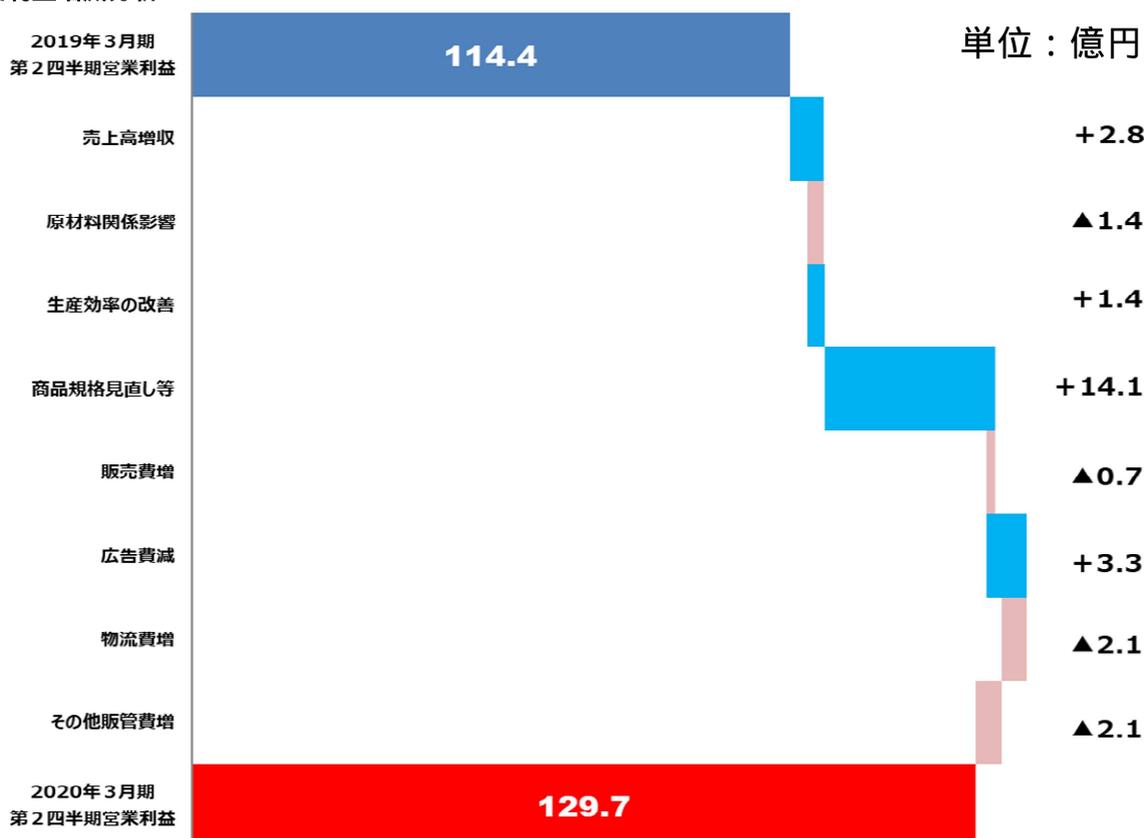
(単位:百万円)

	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	104,724		106,989		2,265		2.2
売上原価	49,483	47.3	49,479	46.2	▲ 4	△ 1.1	△ 0.0
販売費及び一般管理費	43,801	41.8	44,534	41.6	733	△ 0.2	1.7
販売促進費	18,857	18.0	19,628	18.3	771	0.3	4.1
広告宣伝費	4,662	4.5	4,309	4.0	▲ 353	△ 0.5	△ 7.6
運賃保管料	7,072	6.8	7,506	7.0	434	0.2	6.1
給料手当	4,153	4.0	4,208	3.9	55	△ 0.1	1.3
賞与引当金繰入額	1,458	1.4	1,540	1.4	82	0.0	5.7
その他	7,597	7.3	7,340	6.9	▲ 257	△ 0.4	△ 3.4
営業利益	11,440	10.9	12,975	12.1	1,535	1.2	13.4
営業外収益	490	0.5	671	0.6	181	0.1	36.7
営業外費用	85	0.1	111	0.1	26	0.0	30.1
経常利益	11,845	11.3	13,535	12.7	1,690	1.4	14.3
特別利益	507	0.5	3	0.0	▲ 504	△ 0.5	△ 99.3
特別損失	1,691	1.6	237	0.2	▲ 1,454	△ 1.4	△ 86.0
税金等調整前四半期純利益	10,661	10.2	13,301	12.4	2,640	2.2	24.8
法人税等	3,785	3.6	4,084	3.8	299	0.2	7.9
四半期純利益	6,875	6.6	9,216	8.6	2,341	2.0	34.0
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失()	▲ 806	△ 0.8	62	0.1	868	0.9	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,682	7.3	9,153	8.6	1,471	1.3	19.2

(注) 販売費及び一般管理費の内訳として表示していた「運賃」は、明瞭性を高めるため、「販売促進費」と「その他」に含まれていた「倉敷保管料」と合算し、「運賃保管料」として表示する方法に変更しております。

この変更を反映させるため、2019年3月期 第2四半期の「販売促進費」21,046百万円は、「販売促進費」18,857百万円、「運賃保管料」2,189百万円として組み替え、また、「その他」7,630百万円は、「その他」7,597百万円、「運賃保管料」33百万円として組み替えております。

営業利益増減分析



セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前期比較	前期比(%)
食料品製造				
売上高	100,598	103,049	2,451	102.4
(売上高構成比)	(96.1%)	(96.3%)		
セグメント利益	11,292	12,900	1,608	114.2
食料卸売				
売上高	2,923	2,697	▲ 226	92.3
(売上高構成比)	(2.8%)	(2.5%)		
セグメント利益	162	130	▲ 32	80.1
不動産及びサービス				
売上高	937	945	8	100.9
(売上高構成比)	(0.9%)	(0.9%)		
セグメント利益	382	399	17	104.4
その他				
売上高	265	297	32	112.1
(売上高構成比)	(0.2%)	(0.3%)		
セグメント利益	26	50	24	189.0

(注) 1. 2020年3月期 第1四半期連結会計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する収益及び費用の配分方法の見直しを行っております。

なお、2019年3月期 第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前期比較	前期比(%)
連結売上高	104,724	106,989	2,265	102.2
営業利益	11,440	12,975	1,535	113.4
食料品製造				
売上高	100,598	103,049	2,451	102.4
営業利益	11,292	12,900	1,608	114.2
菓子食品				
売上高	55,898	56,225	327	100.6
営業利益	2,549	3,664	1,115	143.7
冷菓				
売上高	23,474	25,127	1,653	107.0
営業利益	3,737	4,488	751	120.1
健康				
売上高	21,225	21,696	471	102.2
営業利益	5,005	4,747	▲ 258	94.9

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

国内売上高	94,374	97,958	3,584	103.8
海外売上高	6,224	5,090	▲ 1,134	81.8

海外売上高比率(対連結売上高)	5.9%	4.8%
-----------------	------	------

設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位:百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前期比較
設備投資額	4,062	2,597	▲ 1,465
減価償却費	2,719	2,931	212
研究開発費	1,099	1,098	▲ 1

【下期予想】

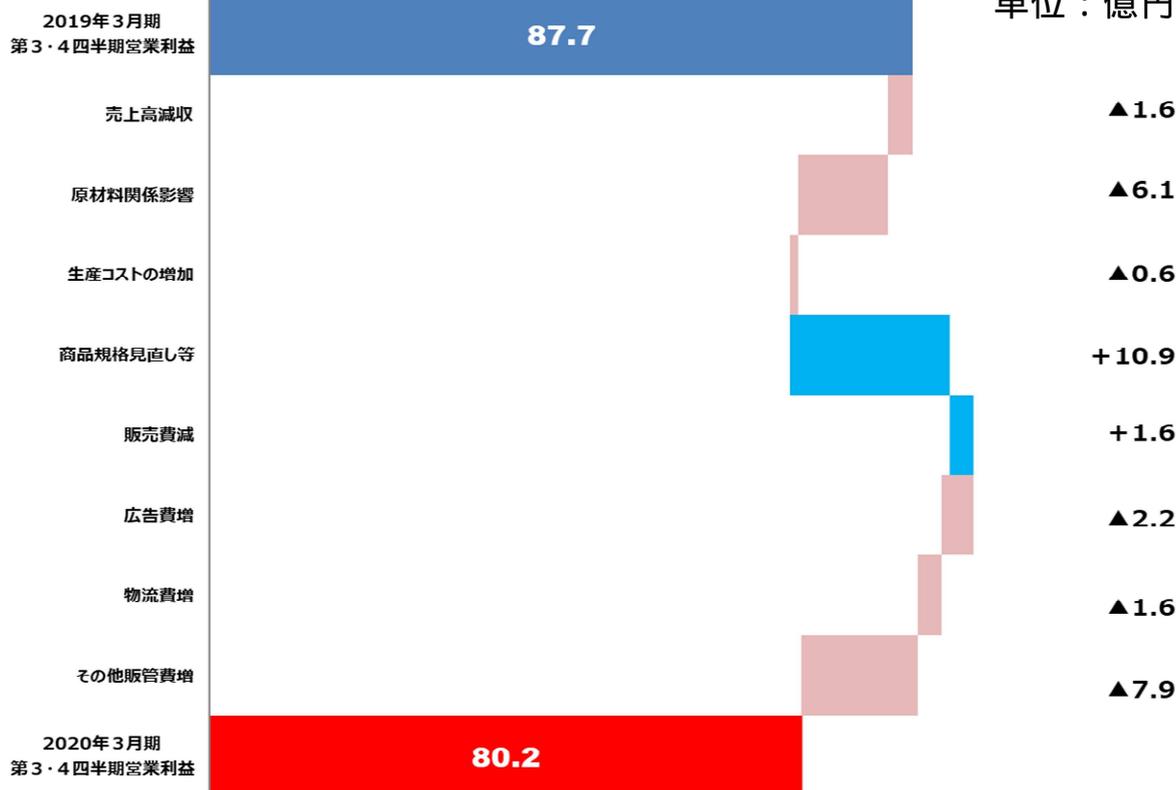
業績

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3・4四半期	2020年3月期 第3・4四半期	前期比較	前期比(%)
売上高	100,644	100,010	▲ 634	99.4
営業利益	8,777	8,024	▲ 753	91.4
経常利益	8,922	7,864	▲ 1,058	88.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,134	5,346	212	104.1

営業利益増減分析

単位:億円



セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2019年3月期 第3・4四半期	2020年3月期 第3・4四半期	前期比較	前期比(%)
食品製造				
売上高	95,617	94,450	▲ 1,167	98.8
(売上高構成比)	(95.0%)	(94.4%)		
セグメント利益	8,311	7,975	▲ 336	96.0
食料卸売				
売上高	3,741	4,302	561	115.0
(売上高構成比)	(3.7%)	(4.3%)		
セグメント利益	377	353	▲ 24	93.6
不動産及びサービス				
売上高	972	954	▲ 18	98.2
(売上高構成比)	(1.0%)	(1.0%)		
セグメント利益	444	427	▲ 17	96.1
その他				
売上高	313	302	▲ 11	96.7
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	76	18	▲ 58	23.7

(注) 1. 2020年3月期 第1四半期連結会計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する収益及び費用の配分方法の見直しを行っております。

なお、上記のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

食料品製造事業の国内、海外売上高

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3・4四半期	2020年3月期 第3・4四半期	前期比較	前期比(%)
国内売上高	89,699	87,741	▲ 1,958	97.8
海外売上高	5,918	6,709	791	113.4

海外売上高比率(対連結売上高)	5.9%	6.7%
-----------------	------	------